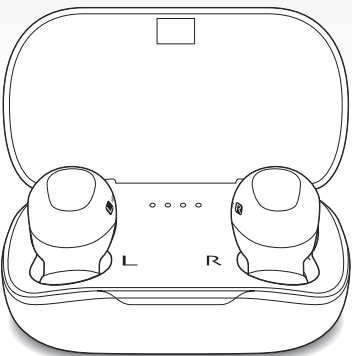


保証書付取扱説明書

完全ワイヤレスイヤホン

型番：HP-W530Z 品番：03-0765



このたびは、AudioComm® 完全ワイヤレスイヤホンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

AudioComm®

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (リ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 - (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ)本書のご提示がない場合
 - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ)一般家庭用以外(例：業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご購入、ご購入後など本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	完全ワイヤレスイヤホン	★お買い上げ日：	年	月	日
型番	HP-W530Z	品番	03-0765	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)	
お客様	★お名前 <small>ふりがな</small> ★ご住所 〒 ー 様 電話 ()				
修理メモ					
★住所	店名	電話			
販売店	(印)				

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。



株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

●電話相談	●修理・IP・公衆電話からは
0120-963-006	048-992-2735
受付 電話	平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祭日及び年末年始は休業です	
修理に関するご相談は、修理ご相談センターへ	
電話 受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祭日及び年末年始は休業です	

目次

免責事項	1
充電式電池について	1
安全上のご注意	2~5
Bluetoothについて	6~7
各部の名称	8
TWS接続とシングル接続について	8
充電のしかた	9~10
電源のオン/オフについて	11~12
ペアリング(初期登録)のしかた	13~14
音楽再生に関する操作	14
電話に関する操作	15
イヤホンの装着方法とイヤーチップの交換方法	15
故障かなと思ったら	16~17
お手入れのしかた	17
主な仕様	18
保証書とアフターサービスについて	19
保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。


- 充電式電池(リチウムポリマー電池)：イヤホン及び充電ケースに内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自自治体にご相談ください。


安全上のご注意


電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について


この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。


 **危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。


 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

 △記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「感電注意」が描かれています。

 ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

 ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

危険








接触禁止


充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない

- 本製品(イヤホン及び充電ケース)には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がかからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。





警告

 22cm以上 離す	心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは装着部位から22cm以上離す ●電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
 接触禁止	雷が鳴り始めたら、安全のためイヤホン、充電ケース及び充電コードに触れない ●感電するおそれがあります。
 使用禁止	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。 万一、内部に異物などがに入った場合は、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
 分解禁止	分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。
 禁止	自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない ●高温になると、危険を防止するため充電式電池(リチウムポリマー電池)が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。 イヤホンや充電ケース、充電コードの上に重いものをのせない ●破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。 充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。 航空機内や医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。 付属の充電コード以外では充電しない ●火災や感電、機器の故障の原因となります。

警告

 禁止	運転中は本製品及び携帯電話を使用しない。運転中に携帯電話の画面を注視しない。運転中以外でも、周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では本製品を使わない ●必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。 ●歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。
	火の中に入れない ●本製品(イヤホン及び充電ケース)には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されており、誤って火中に入ると、発熱、破裂、発火の原因になります。 充電ケースを他の製品に使用しない。また、充電ケースにイヤホン以外のものを入れない ●火災・感電の原因となったり、ショートして故障するおそれがあります。

注意

 水かけ禁止	水をかけたり、浴室など湿度の高い場所に放置しない ●故障の原因となります。
 保管場所に注意	小さなお子様の手の届かないところに保管する ●誤飲など思わぬ事故を招くことがあります。
 音量は小さく	長時間、大音量で聴き続けない ●聴力障害などの原因となることがあります。
 禁止	暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●破損・故障の原因となります。 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない ●落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。 充電コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	イヤホン及び充電ケースに、キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない ●本製品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

- ズボンなどの後ろポケットに入れたり、かばんの中に入れたままにしない
- 気づかずに椅子などに座ったり、かばんに力加わるなどして、変形や破損、故障の原因となることがあります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない
- 変形・変色の原因となります。
- 自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない
- 電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
- 充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない
- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 - 必ずプラグ部を持って抜いてください。
- 日本国以外では使用しない
- 本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
 - 国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、近距離(最大約10m以内)であれば、どこにいても無線通信により音楽や通話を楽しむことができます。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.5.0

【対応プロファイル】

- ・ HSP(通話 / 携帯電話などを操作するためのプロファイル)
- ・ HFP(ハンズフリーで通話 / 携帯電話などを操作するためのプロファイル)
- ・ A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
- ・ AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

● 本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

セキュリティについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。



Bluetoothについて(つづき)

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

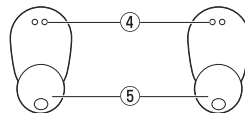
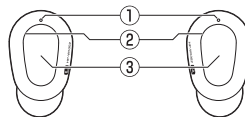
- ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・病棟内では本機を使わない。
 - ・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・その他、医療機関による使用制限・使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

各部の名称

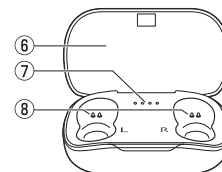
左イヤホン



- ①インジケータ
- ②マイク
- ③マルチファンクションボタン

右イヤホン

充電ケース



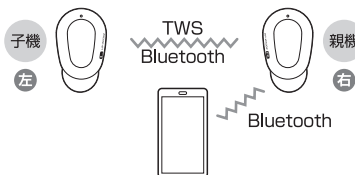
- ④充電用接点
- ⑤イヤーチップ
- ⑥カバー
- ⑦充電ランプ
- ⑧充電用接点
- ⑨microUSB端子

TWS接続とシングル接続について

- TWS(True Wireless Stereo)は、2つのイヤホンをBluetoothによりペアリングすることで、左右独立したステレオサウンドを実現する機能です。本機はこの機能を搭載しており、2つのイヤホンを同時に使うときは、自動的にTWS接続になります。
- 本機は左右いずれかのイヤホンを単独でも使うこともできます(シングル接続)。

●TWS接続の場合：

左右独立した音声出力により、広がりのあるステレオサウンドを楽しめます。



●シングル接続の場合：

イヤホンは右でも左でも可能です。



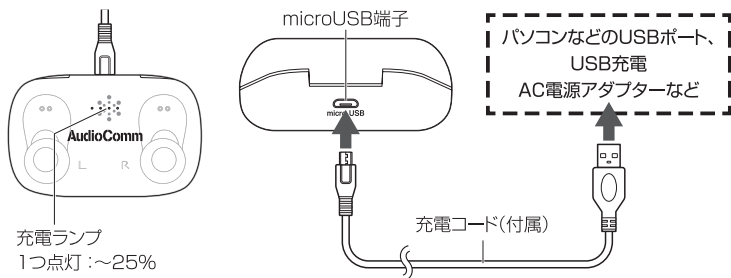
- TWS接続の場合、通常は右イヤホンが親機となりますが、安定したBluetooth接続のため、電波状況などに応じて左イヤホンに切り換わることがあります。

充電のしかた

はじめてお使いになるときは、充電ケース、イヤホンともに十分に充電してください。

充電ケースを充電するときは

充電ケースのmicroUSB端子とパソコンなどのUSB端子を付属の充電コードで接続します。充電状況に応じて、カバー内で点灯・点滅する充電ランプ(青)が1つずつ増えていき、完了すると4つのランプがすべて点灯します。



- 充電ランプ
- 1つ点灯：～25%
 - 2つ点灯：25～50%
 - 3つ点灯：50～75%
 - 4つ点灯：75%～

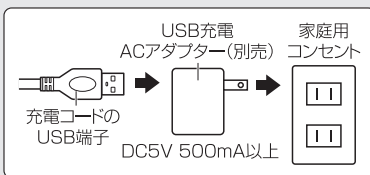
※カバーを閉じた状態でも確認できます。

重要

付属の充電コードは本機専用です。他のUSBコードを本機の充電に使わないでください。また付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。機器やデータの故障、破損につながる場合があります。

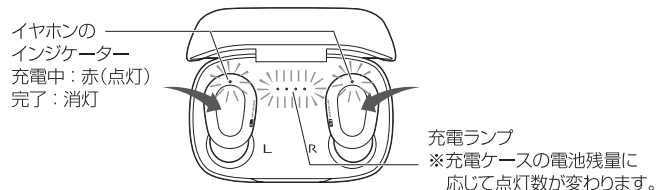
ヒントとご注意

- 家庭用コンセントで充電する場合は、DC5V 500mA以上のUSB充電AC電源アダプター(別売)をご利用ください。
- パソコンで充電するには、電源供給ができるUSBポートに直接接続してください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。また、充電中にパソコンが省電力モードやスリープモードになると正しく充電されません。
- イヤホンを入れた状態で充電ケースを充電すると、イヤホンも同時に充電できます。
- フル充電になっても、充電ランプは消灯しません。節電のため、早めに充電コードを抜いてください。
- 充電ランプのうち、いちばん左のランプが1つのみ点滅するときは電池残量がありません。早めに充電してください。



イヤホンを充電するときは

- イヤホンを充電ケースに戻すと充電が始まります。
- 充電中はイヤホンのインジケーター(赤)が点灯し、完了すると消灯します。
- 充電中は充電ケースの充電ランプ(青)も電池残量に応じて点灯し、完了すると消灯します。
- 充電ケースがフル充電の場合、約2回分のイヤホン充電が可能です。



ご注意

- 充電ケースが十分に充電されていないときは、イヤホンの充電が不安定になることがあります。
- イヤホンに汗などが付着している場合は、よく拭き取ってからセットしてください。
- 使用中にイヤホンの電池残量が少なくなると、インジケーター(赤)が点滅し、「バッテリー残量 ロー」の音声が数回流れます。その後しばらくすると電源が切れますので速やかに充電してください。

ヒントとご注意 ※充電ケース充電時・イヤホン充電時共通

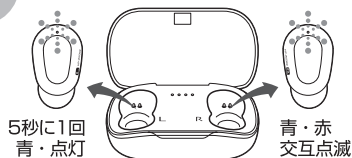
- 十分に充電したにもかかわらず持続時間が半分程度になった場合は、内蔵されている充電式電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度：0℃～40℃、湿度：20～80% 結露なしにて)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していても充電ケースの充電ランプやイヤホンのインジケーターが充電完了を示す状態になることがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 長期間使わなかったときは、イヤホンの電池持続時間や充電ケースの充電可能時間が短くなることがあります。この場合は何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

電源のオン／オフについて

電源を入れる

自動オン

充電ケースからイヤホンを2つとも取り出すと、自動で電源が入ります。



5秒に1回
青・点灯

青・赤
交互点滅

●電源が入りしばらくすると、双方のイヤホンが自動でTWS (True Wireless Stereo) 接続され、次にBluetooth接続する機器 (相手側機器) を探している状態になります (ペアリングモード)。

音声ガイダンス

イヤホン間のTWS接続時: 「接続しました」 ※TWS接続時のみ
ペアリング開始時: 「ペアリングモード。新しい機器を検索しています」
ペアリング完了時: 「接続しました」

シングル接続時

●片方だけ取り出したときも自動で電源が入り、シングル接続でのペアリングモードになります (インジケーター: 青・赤交互点滅)。

手動オン

手動で電源を切ったり、自動電源オフ機能により電源が切れたときは、左右のイヤホンのマルチファンクションボタンをそれぞれ約2秒間押し、電源が入り、ペアリングモードになります。

約2秒間押し



5秒に1回
青・点灯

青・赤
交互点滅

音声ガイダンス

電源オン時: 小さく電子音が鳴った後「電源オン」
イヤホン間のTWS接続時: 「接続しました」 ※TWS接続時のみ
ペアリング開始時: 「ペアリングモード。新しい機器を検索しています」
ペアリング完了時: 「接続しました」

シングル接続時

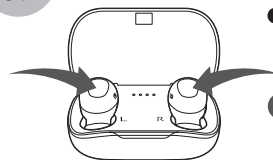
●左右いずれかのイヤホンだけ電源を入れた場合は、シングル接続でのペアリングモードになります (インジケーター: 青・赤交互点滅)。

はじめて使うときは、Bluetooth機器 (相手側機器) とのペアリングが必要です。「ペアリング (初期登録) のしかた」を参照して操作してください。

電源を切る

自動オフ

充電ケースにイヤホンに戻すと自動で電源が切れます。



●充電ケースに十分な電池残量がある場合は、イヤホンの充電が始まります。

シングル接続時

●シングル接続時も、充電ケースにイヤホンに戻すと自動で電源が切れて充電が始まります。

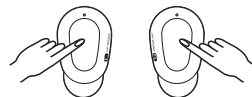
ご注意

●充電ケースの電池残量がないときは、充電ケースからイヤホンを取り出しても自動で電源が入らないことがあります。また、イヤホンを充電ケースに戻した場合も、自動で電源が切れない場合があります。その場合は手動モードでイヤホンの電源を操作してください。また、できるだけ早く充電ケースも充電してください。

手動オフ

電源が入っているときに、左右のイヤホンのマルチファンクションボタンをそれぞれ5秒間長押しすると、電源が切れます。

長押し 5秒間



シングル接続時

●上記と同様の操作で、電源を切ることができます。

音声ガイダンス

電源オフ時: 小さく電子音が鳴った後「電源オフ」

ヒント

●TWS接続中に、片方のイヤホンだけ電源を切った場合は、シングル接続に切り換わります。

自動電源オフについて

電源を入れた後、Bluetooth接続していない状態が5分間続くと、イヤホンの電源は自動的に切れます。

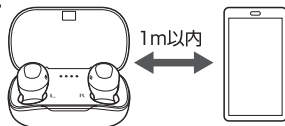
ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器:スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。

- はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。
- 相手側機器が他の機器とBluetooth接続しているときは、本機とのペアリングができません。事前に必ず他機との接続を解除してください。
- ペアリングが完了すると、次回以降はイヤホンから取り出すだけで電源が入り、相手側機器と自動接続します(手で電源を入れたときも自動接続します)。
※接続する機器によっては自動接続しない場合があります。そのときは、以下の手順や機器付属の取扱説明書などを参照し、その都度手動で接続してください。

1 本機と登録したい相手側機器を手元に用意します。

- 相手側機器は電源が入っている状態にしてください。



2 充電ケースからイヤホンを取り出します。

- TWS接続で使うときは2つとも取り出します。
- シングル接続で使うときは左右いずれかのイヤホンを取り出します(どちらでも可)。
- イヤホンを充電ケースから取り出すと、自動で電源が入り、しばらくするとペアリングモード(接続可能な機器を探している状態)になります。電源が入らないときは、マルチファンクションボタンを1秒間長押しして、手動で電源を入れてください。

3 相手側機器で本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone : [設定] → [Bluetooth]

Android : [設定] → [その他の設定] → [Bluetooth]
[設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth設定]

NTT docomo : [アプリ] → [設定] → [Bluetooth]

SoftBank : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth]

au : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth設定]

Windows Mobile : [設定] → [接続] → [Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称「HP-W530Z」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。
※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機とのペアリングが完了すると…

「接続しました」の音声が流れ、インジケーターが5秒に1回青く点灯するようになります。相手側機器で再生などの操作をしてください。

ヒントとご注意

- 一度ペアリングしておく、相手側機器のBluetooth機能が有効なときは、本機の電源を入れる(充電ケースから本機を取り出す)だけで、自動接続されます。
- ペアリングモード時に相手側機器とのBluetooth接続が未完了の状態が5分間続くと、電源が切れます。
- ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは：
 - ・本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してください。
 - ・相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。
 - ・上記を試しても正常に戻らない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。
- 相手側機器のBluetooth設定画面に、「HP-W530Z」の表示が2つある場合、左右イヤホンのTWS接続が正しく行なわれていないことを示しています。いったん充電ケースに双方のイヤホンに戻すか手動で電源を切り、最初からペアリングをやり直してください。

音楽再生に関する操作



左右どちらのイヤホンでも操作できます。

音楽などの再生しているときに、マルチファンクションボタンを1回押すと、一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。音量調節を含む一時停止/再生再開以外は、すべて相手側機器で操作してください。

ヒントとご注意

- iPhoneにてマルチファンクションボタンを2秒間長押しすると、Siriを呼び出すことができます(通話中を除く)。
- 機種や再生アプリにより、操作方法が異なる場合があります。

電話に関する操作

通話機能のあるBluetooth機器の場合、マルチファンクションボタンで以下の操作が可能です。音楽などを聴いているときは、再生が中断され、通話を切るや通常の再生に戻ります。

マルチファンクションボタン	動作
着信中に押す	電話に出る
通話中に押す	通話を切る
2回続けて押す	直近の発信先へリダイヤル
着信中に2秒間押す	着信拒否

ヒントとご注意

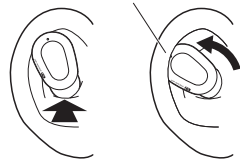
- TWS接続中は、左右どちらのイヤホンでも操作できます。
- お使いの機種によっては、携帯電話側で着信音や通話音声の出力設定が必要な場合があります。本機にて音声を聴きたい場合は本機を選択してください。
- 着信音について：携帯電話の機種や設定によっては、着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後は携帯電話側から通常の着信音が出力される場合があります。

イヤホンの装着方法とイヤーチップの交換方法

イヤホンの装着方法

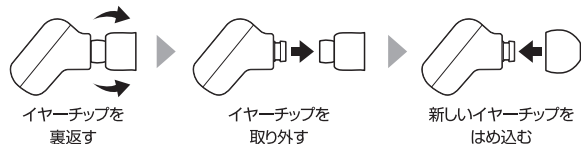
イヤーチップ部を耳穴に入れ、イヤホン自体を回しながらイヤーフックを耳ひだの中に軽く押し込み、安定する位置に装着してください。

回しながら耳ひだの中に軽く押し込む



イヤーチップの交換方法

本製品には3種類(S、M、L)のイヤーチップが付属しています。フィットするサイズを選んでご使用ください(工場出荷時はMサイズが装着されています)。



故障かなと思ったら

症状	チェック事項
充電ケースの充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・充電コードは正しく接続されていますか。 ・パソコンに接続している場合、電源供給ができるUSBポートに接続していますか。USBハブなどを介さず、直接接続していますか。 ・パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。 ・付属品ではない充電コードを使用していないですか。
イヤホンの充電が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ・充電ケースの電池残量が不足していませんか。 ・充電部やイヤホンの充電端子部が汚れていたり、ゴミなどが挟まっていませんか。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・イヤホン自体の電池残量が減っていませんか。 ・電池残量のない充電ケースから取り出していませんか(充電ケースの電池残量がない場合、イヤホンを取り出しても自動で電源が入らないことがあります)。 ・手動で電源を入れる場合、マルチファンクションボタンを長押ししましたが(短く押しただけでは電源は入りません)。
TWS接続ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・イヤホンがどちらも十分に充電されていますか(片方のイヤホンだけ電池残量不足になっていませんか)。 ・2つのイヤホン間が離れすぎていませんか。 ・手動で電源を入れた場合、2つのイヤホンともマルチファンクションボタンを長押しして電源を入れましたか。
ペアリングができない	<ul style="list-style-type: none"> ・相手側機器の電源は入っていますか。 ・相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。 ・相手側機器が他の機器と通信していませんか。 ・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・正しくBluetooth接続されていますか。 ・相手側機器で再生などの操作を行ないましたか。 ・相手側機器の音量が最小になっていませんか。 ・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
2回目以降使用時に、Bluetooth接続ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。 ・相手側機器が他の機器と通信していませんか。 ・相手側機器がスリープ状態になっていませんか。 ・相手側機器内で本機の登録が削除されていませんか。

故障かなと思ったら

症状	チェック事項
ノイズやエコー音がする、音が途切れがちになる	・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎではありませんか。 ・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。
携帯電話に着信があっても、本機が応答しない	・本機との接続が解除されていませんか。 ・携帯電話の設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていませんか。 ・一部の携帯電話では、Bluetooth使用に際して切換操作が必要なものがあります。携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

お手入れのしかた

※必ず電源を切ってから行なってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後乾拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

主な仕様

電源	DC5V 500mA(USB給電：microUSB端子)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池 (イヤホン：50mAh 充電ケース：400mAh)
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.0
対応プロファイル	HSP, HFP, A2DP, AVRCP
対応コーデック	SBC, AAC
変調方式/周波数帯域	GFSK / 2.402~2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
再生周波数帯域	20~20,000Hz
マイク指向特性/感度	無指向性/-38dB
充電時間	イヤホン：約1.5時間 充電ケース：約1.5時間 (ともに残量ゼロからフル充電まで)
音楽再生可能時間	最大約5.5時間(50%音量)
通話可能時間	最大約5.5時間(50%音量)
待受可能時間	最大約120時間
許容動作温度/湿度	温度：0~40℃ 湿度：20~80%(結露なしにて)
外形寸法	イヤホン：幅27×高さ16×奥行23mm(突起物を含まず)
	充電ケース：幅64×高さ28×奥行42mm
質量	イヤホン：約4.5g(1個あたり、イヤーチップ装着)
	充電ケース：約30g(ケースのみ)
付属品	充電ケース、専用充電コード、イヤーチップ(S・M・L ※Mは本体に装着済み)、保証書付取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、音楽再生可能時間、通話可能時間、待受可能時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※本書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。